

おたけごんげんしゃ しぜんりん  
御嶽権現社の自然林

東山 火男火売神社（御嶽権現社）

県指定天然記念物（植物）

昭和 50 年 3 月 28 日指定

市指定生物環境保護地区

昭和 52 年 7 月 19 日指定

鶴見岳の南側中腹、海拔 760 ～ 800 m  
にある御嶽権現社の境内林で、樹高 18 m  
のアカガシが林冠を被い鎮守の杜を形成し

ている。胸高幹囲が 150cm 以上の大きなアカガシが 17 本生育しており、幹囲が 400cm を超える巨木は 5 本で、一番大きいものの幹囲は 588cm もある。空洞や裂け目のある老木、支幹の折れた巨樹もあるが、人手を加えることなく現状を維持することが大切である。このアカガシ林には、コハウチワカエデ、ミズキ、ヤブツバキ、ヒサカキ、シキミ、ヤブニッケイなどの樹木も生育している。この樹林が、御嶽権現社の神域の荘厳さを保っている。



（藤内 広三）